

～ 社会の営みを止めない JFE の緊急対応力～不可能を可能にする技術力～

社会インフラの突発的損傷は、都市機能の麻痺と経済活動の停止を引き起こします。JFEエンジニアリングは、こうした危機的状況において、迅速な初動と革新的な技術で対応します。現場での判断力、前例の無い解決策を生み出す創造力、そして「社会を止めない」という使命感。これらを結集し、従来の常識を超える短期間での緊急対応を実現してきました。

当社の強み

- ・緊急事態においても調査から施工まで一括で迅速に対応できる組織力
- ・特殊な状況下においても現場で臨機応変に推進できる実行力と技術力
- ・鋼材供給や、構造物の調査/診断にも対応できるJFEグループの総合力

火災対応事例（首都高5号線火災対応）

概要

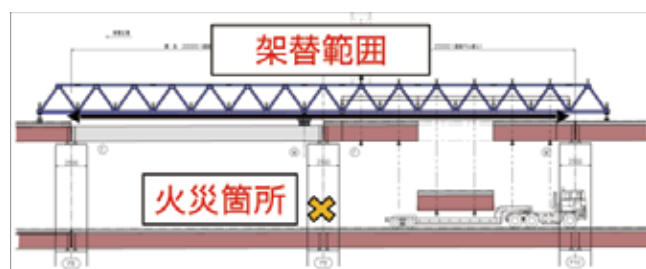
2008年、首都高5号線で大型車両の火災事故が発生、鋼橋に深刻な熱損傷をもたらしました。首都圏の大動脈が遮断され、膨大な経済損失と都市機能の麻痺が危惧される事態となりました。

対応

- ・事故発生から数時間以内に技術者を現場に派遣し、損傷調査を開始
- ・架設トラス桁を使い、既設桁の大ブロック撤去と、新設桁の縦送り架設に活用する工法を提案

結果

事故発生からわずか6日後で部分交通開放、72日後に完全復旧を実現



事故対応事例（大島大橋船舶衝突事故）

概要

2018年、大型船舶の衝突により山口県周防大島と本土を結ぶ大島大橋の主桁部が致命的な損傷を受けました。

トラス橋の下弦材の下フランジが完全に破断し、上フランジにも深刻な変形が生じる致命的な損傷状態でした。

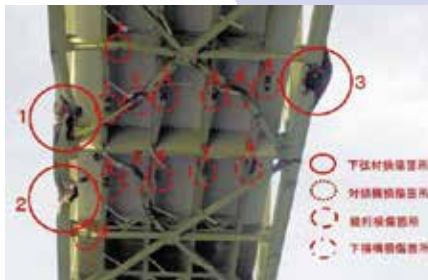


対応

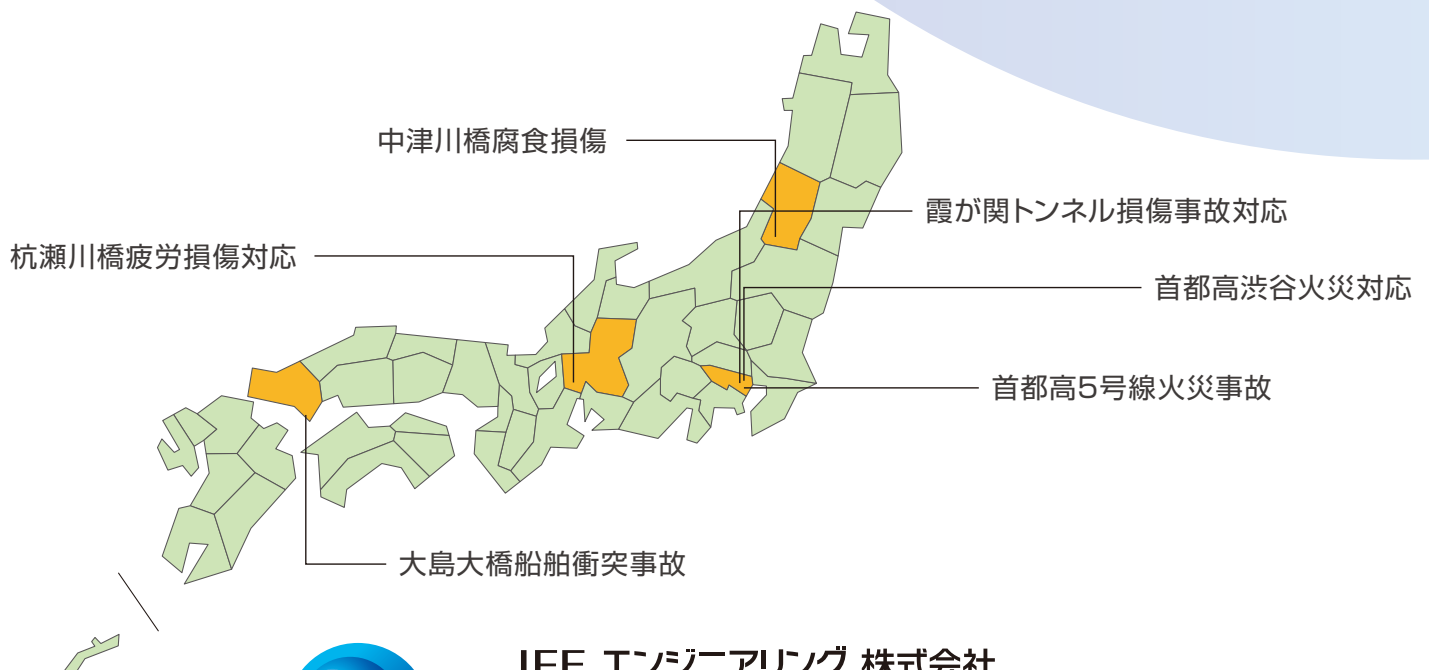
- ・緊急対応依頼を受けたその日に現地へ乗り込み施工開始、損傷進展の抑止としてワイヤーを設置し復旧作業の安全性を確保
- ・バイパスビームにより応急的に交通開放し、その後併設トラス部材で一時的に応力を分担し、本設部材に取り替える工法を提案

結果

事故発生からわずか35日という驚異的なスピードで全面交通開放の暫定復旧を実現



災害復旧・緊急対応の施工実績



JFE エンジニアリング 株式会社

社会インフラ本部 改築事業部

〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地
Tel.045-505-8911 Fax.045-505-6563
URL: <https://www.jfe-eng.co.jp>